

ERIS マークの付いた行事は

「えりす いしかりネットテレビ」でもご紹介しています。
あわせてご覧ください! <http://www.i-eris.tv/>



◎石狩市・恩納村生徒交流事業 ERIS

2月12日(木)～14日(土)の間、恩納村交流団(中学生24人、引率者6人)が石狩市を訪れました。今年で18回目の訪問となる交流団は、滞在中、いしかり砂丘の風資料館で石狩の歴史を学び、花川北中学校では文化発表、平和の集いなどの学校間交流を行なったほか、中学生の家庭での民泊、初めての雪合戦やスキー体験など、寒い石狩の冬に、温かな心が通う交流をしました。



スポーツ広場では雪合戦を体験!



花川北中学校で行われた交流会で、エイサーを披露した恩納村の生徒たち。

◎佐藤兄弟、ジャンプで全国優勝と3位

2月5日(木)に開かれた全国中学校スキー大会のジャンプ種目で、初優勝した佐藤正棋君(花川北中学校3年)と、3位に入った弟の幸椰君(同中学校1年)が9日(月)、市長に受賞の喜びを報告しました。2回目に50.5mの最長不倒をマークした正棋君。「跳び出した瞬間、イケると思った。着地して思わずガッツポーズをした」と大会を振り返ります。正棋君は「オリンピック出場」、幸椰君は「ワールドカップの総合優勝」と、目標を語りました。



市長に笑顔で喜びを語る、佐藤正棋君(中央)と幸椰君。

◎さっぽろ雪まつりで石狩をPR

さっぽろ雪まつり会場でも今年も石狩観光をPRするステージが開催され、2月5日(木)・7日(土)～11日(水)の間、9回にわたって石狩の魅力を紹介しました。「あき味の会」が石狩鍋を無料配布したほか、石狩鍋大使の「零式」が「石狩鍋復活プロジェクト」のテーマ曲「石狩鍋 with You!!」を、いしかり観光大使の「石狩流星海」がYOSAKOIの演舞を披露するなど、まつりを訪れた人々にしっかり石狩をアピールしました。



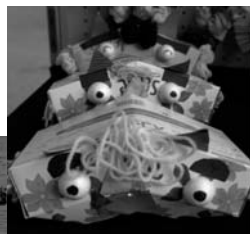
2代目石狩鍋大使に就任した「零式」。



まつり初日の2月5日(木)に振る舞われた石狩鍋。

◎「石狩市の保育」作品展 ERIS

市内保育園が、日ごろの活動の様子や、園児の作品を紹介する展示会。今年も2月10日(火)～19日(木)、りんくろで行われました。紙粘土や発泡スチロール、色紙、フェルトなどで作ったパンや、すしなどは、本物そっくり。四季を感じる作品もたくさん並び、保育園での子どもたちの様子が伝わってきました。



ティッシュケースで作った鬼の面。



◎厚田区民ウィンターレクフェスタ ERIS

「今年もスキー場でウィンタースポーツを楽しみたい」。そんな強い思いを胸に、旧厚田スキー場で2月15日(日)開かれた厚田区民ウィンターレクフェスタ。スキー回転競技や、幼児から大人まで参加したレク競技、ビンゴ大会などで盛り上がりました。昼食時は、厚田の食材で作ったあつあつの豚汁や、地元の牧場から提供されたホットミルクなどが、約200人の参加者へ振る舞われ、心も体も温まる楽しい一日を過ごしました。



地区対抗ワノハレースの一幕。

◎銅メダリストの堀井 学氏が講演

1月25日(日)、ガトーキングダムサッポロで行われた「(財)石狩市体育協会創立50周年記念講演」には、約200人ものスポーツ関係者が集まり、1994年のリレハンメルオリンピックスピードスケート500m銅メダリストである堀井学氏の話に耳を傾けました。テーマは「夢への挑戦」。堀井氏は、記録の伸びなかった中学時代に、いつも夢を持たせてくれた祖父の言葉や、帯広の柏高校でコーチから「1%の可能性があれば、それを信じて練習するように」と言われた体験談を、声色もまねながら語ってくれました。



メダリストの貴重な体験話が聞けた講演。

まちの話題

●まちの主な出来事を写真で振り返ります。

◎楽しく歩こう!ノルディックウォーキング

このウォーキングは、2本のストックを持ち、全身を使って歩くので、エネルギー消費がアップ。雪道での転倒防止にも役立ちます。1月21日(水)に行われた講習会では、講義に続き、早速実践へ。慣れない歩き方に戸惑うも、普段ウォーキングを日課にしている参加者からは「いい運動になる」と、その効果を体感している様子でした。



40人の参加者は、街中の自然を楽しみながら、茨戸川沿線のコースをウォーキング。

◎小学生が除雪車に試乗

昨年からはまった北海道初の除雪車搭乗体験。1月22日(木)は、石狩小学校の児童15人が石狩浜で除雪車に試乗しました。子どもたちは、除雪車が大量の雪を噴き上げるのを見ると、歓声を上げながら「早く乗りたい!」と待ちきれない様子。試乗後は「ずっと遠くまで見えた」「振動がすごかった」と興奮ぎみでした。なお、一般の方を対象とした搭乗体験は、2月28日(土)まで行われました。



除雪車が19トンもあると知って、驚く子どもたち。

◎厚田小、望来小合同で雪像作り ER'S

1月28日(水)、望来小学校校庭で、厚田小学校と望来小学校の1・2年生が合同で雪像作りに挑戦しました。当日は、寒さが厳しかったものの晴天に恵まれ、まばゆい冬の日差しの下、約30人の児童が赤組、青組に分かれて雪と奮闘。「上手にできた」と完成した雪像に、みんな満足げでした。



雪像を制作中の青組。



完成した赤組の雪像。

◎マラウイからの研修生、石狩を訪問 ER'S

国際協力機構(JICA)の地方自治制度研修のため、アフリカ南部のマラウイ共和国から来日している政府職員らが、2月5日(木)石狩市を訪れました。議場や庁舎を見学後、一行は浜益へ。初めて触れる雪に「冷たい」と驚きながらも、浜益小学校の児童と一緒に雪遊びを楽しみました。その後も、石狩消防署浜益支署などを訪問し、「大変刺激を受けた。学んだことを母国でも役立てたい」と話していました。



大きな雪だるまを作るため、みんなで力を合わせて。

市内の
サークル・団体

会員募集

図書広報課
☎72-3145

広報いしかり5月号の会員募集記事掲載申込書の受付期間は3月20日(金・祝)～31日(火)です。

- 広報紙への会員募集記事掲載は「年1回」です。
- 掲載希望の場合は「会員募集記事掲載申込書」に必要事項を記入の上、上記期間内に秘書広報課窓口へ持参・郵送・ファクス・Eメールのいずれかで提出してください(先着8件まで)。
- 申込書は市役所3階秘書広報課窓口・各支所・市公民館にあるほか、石狩市ホームページからもダウンロードできます。

新婦人の絵手紙サークル

☑ 女性

時 ①第1・3木曜14:00～16:00 ②第2・4木曜19:00～21:00 ③第2・4水曜10:00～12:00

所 ①コスモス会館(花川南4-2) ※予定 ②新婦人事務所(花川南1-3) ③個人宅

料 月900円・入会金100円 ※運営費として別途月300～500円

問 堀田さん ☎☎73-1015 (電話は平日10:00～15:00)

句歌歳時記

俳句

初空の木々の静まる朝かな

唐澤

礼子

短歌

不器用な生き方のまま逝きし父

気付けば同じ道たどる吾

釣本

峰雄

汐の香の漂ふ朝の気を吸ひて

妻と歩みしも遙けくなりぬ

成澤

茂